

——2026 Rim Spring Camp 試合結果——

【1 試合目】

- 日時：3月7日（土） 13時 試合開始
- 場所：パークむつざわ総合体育館
- 対戦相手：都留文科大学
- スコア：
江戸川大学 147 – 37 都留文科大学
1Q 27-8
2Q 28-13
3Q 52-9
4Q 40-7

■齊藤拓真選手（マス・コミュニケーション学科2年・広島皆実高）のコメント
序盤から得点を重ねて点差を広げ、終始自分たちのペースで試合を進めることができました。攻撃面では外角のシュートを積極的に狙い、ボールを回しながら良い形でシュートまでつなげることができました。一方で、シュートの決定率や細かい場面での集中力、カバリングには課題も見られました。今回の反省を次の試合に活かしていきたいと思いません。

【2 試合目】

- 日時：3月7日（土） 16時 試合開始
- 場所：パークむつざわ総合体育館
- 対戦相手：国土館大学
- スコア：
江戸川大学 81 – 68 国土館大学
1Q 18-22
2Q 24-14
3Q 20-11
4Q 19-21

■浅野暖大選手（情報文化学科1年・東海大学付属諏訪高）のコメント
前半は相手の勢いに対応できず、得点を取り合う展開になり、簡単なシュートを許してしまいました。しかし後半の立ち上がりからは、自分たちの持ち味である強度の高い守備から速攻で早い展開に持ち込むことでリードを奪い、点差を広げることができました。リードしている中でも苦しい時間がありましたが、コート内外で声を掛け合いながら最後まで戦い、勝ち切ることができました。一方で、コミュニケーションミスや簡単なミスが見ら

れたため、今後の試合や練習の中で修正し、改善していけるよう努めてまいります。

【3 試合目】

- 日時：3月8日（日） 9時 試合開始
- 場所：オーツカアリーナ
- 対戦相手：金沢学院大学
- スコア：
江戸川大学 112 – 56 金沢学院大学
1Q 26-15
2Q 27-13
3Q 26-11
4Q 33-17

■石丸陽生選手（経営社会学科1年・広島皆実高）のコメント

チームルールである速攻を多く展開し、早い段階でシュートを決め切ることができました。また、速攻で攻め切れなかった場面では、練習してきたことを全員が意識しながらプレーすることができました。守備面では、相手へのプレッシャーを強くかけ、素早い入れ替わりを行い、チームディフェンスを徹底しました。さらに、チーム全体で粘り強くボールを取りに行き、そこから速攻に繋げることで効率よく得点を重ねました。

【4 試合目】

- 日時：3月8日（日） 12時 試合開始
- 場所：ニューオーツカアリーナ
- 対戦相手：都留文科大学
- スコア(ハーフゲーム)：
江戸川大学 71 – 15 都留文科大学
1Q 39-10
2Q 32-5

■大谷鴻太選手（経営社会学科2年・宇都宮工業高）のコメント

RIM Spring Camp の4試合目は遠征2日目ということもあり、選手一人ひとりに疲労が見られ、序盤は自分たちの力を十分に発揮できない時間帯もありました。しかし、試合が進むにつれて徐々に自分たちのバスケットボールを体現することができました。また、前日に対戦した相手であったためチームの特徴を理解した上で試合に臨むことができ、江戸川大学らしいバスケットボールを展開することができました。

【5 試合目】

- 日時：3月8日（日） 13時30分 試合開始
- 場所：オーツカアリーナ
- 対戦相手：白鷗大学
- スコア：
江戸川大学 80 – 80 白鷗大学
1Q 25-14
2Q 24-25
3Q 14-19
4Q 17-22

■青木凰介選手（経営社会学科1年・帝京長岡高）のコメント

連戦による疲労がある中でも、試合開始から高確率でシュートを決め、ディフェンスでも粘り強く守りながらリードを保って前半を終えることができました。しかし後半はリバウンドを取り切れず、相手にチャンスを与えてしまい、追いつかれる展開となりました。また、不利な状況の中での声掛けやコミュニケーションにも課題が残りました。

【6 試合目】

- 日時：3月8日（日） 15時 試合開始
- 場所：オーツカアリーナ
- 対戦相手：日本ウェルネススポーツ大学
- スコア(ハーフゲーム)：
江戸川大学 51 – 28 日本ウェルネススポーツ大学
1Q 21-14
2Q 30-14

■橘慶竜（経営社会学科2年・出雲北陵高）選手のコメント

守備からの速攻を起点とした攻撃や、外角シュートによる得点など、良い形を作ることができました。守備では、試合を通して集中力を欠く場面があり、プレーの強度が緩んでしまう時間帯もありました。攻撃面では、いくつかの戦術を意識してプレーすることはできましたが、攻撃が偏る傾向も見られました。今後は状況判断をより徹底し、戦術の幅を広げていく必要があると考えています。

【7 試合目】

- 日時：3月8日（日） 15時 試合開始

- 場所：オーツカアリーナ
- 対戦相手：日本ウェルネススポーツ大学 B
- スコア(ハーフゲーム)：
江戸川大学 54 - 17 日本ウェルネススポーツ大学 B
1Q 13-13
2Q 41-4

■花田凜選手（経営社会学科 2 年・柴田学園高）のコメント

前半は攻撃がうまく機能せず、リバウンドから速攻を許す場面が続き、相手のペースで試合が進み、同点で前半を終えました。後半は守備の強度を高め、速攻につなげることで自分たちのペースを取り戻すことができました。流れを引き寄せ、勝利につなげることができました。

【8 試合目】

- 日時：3 月 9 日（月） 10 時 試合開始
- 場所：オーツカアリーナ
- 対戦相手：日本ウェルネススポーツ大学
- スコア：
江戸川大学 103 - 57 日本ウェルネススポーツ大学
1Q 23-23
2Q 24-13
3Q 27-14
4Q 29-7

■染谷真太郎選手（経営社会学科 2 年・土浦日本大学高）のコメント

前半から守備からの速い攻撃で得点を重ねることができました。しかし、相手のペースに巻き込まれ、自分たちの持ち味を十分に発揮できない時間帯もありました。後半では強いディフェンスから速い攻撃を出して流れをつかみ、勝利することができました。

【9 試合目】

- 日時：3 月 9 日（月） 13 時 試合開始
- 場所：ニューオーツカアリーナ
- 対戦相手：東京理科大学
- スコア：
江戸川大学 112 - 38 東京理科大学
1Q 31-6

2Q 27-9

3Q 25-11

4Q 29-12

■中野珠斗選手（経営社会学科2年・能代科学技術高）のコメント

試合の入りから気を引き締めて臨みました。チームとして思い描いていたプレーを発揮できた場面があった一方で、課題も明確になる試合となりました。今後はその課題を改善し、一勝でも多く積み重ねていけるよう、チーム一丸となって日々の練習に取り組んでいきたいと思います。

【10 試合目】

- 日時：3月9日（月）14時45分 試合開始
- 場所：オーツカアリーナ
- 対戦相手：国士舘大学
- スコア：

江戸川大学 62 – 65 国士舘大学

1Q 14-14

2Q 12-27

3Q 23-8

4Q 13-16

■竹村勇祐選手（経営社会学科1年・飛龍高）のコメント

1部大学のBチームとの対戦ということもあり、相手の強度の高い守りに対応できず、シュートまで持ち込めない時間が続き、苦しい立ち上がりとなりました。また、ゴール下でのボールの取り合いでも相手に上回られ、再び攻撃の機会を与えてしまう場面が目立ちました。しかし後半は守りの強度を上げ、速い攻撃やパスをつないだ攻撃から得点を重ね、流れを引き寄せることができました。今後はゴール下でのボールの確保とチームの連携をさらに高め、安定した試合運びができるよう改善していきたいです。

Rim Spring Camp は、【8勝1敗1引き分け】という結果で終了いたしました。

温かいご声援ありがとうございました。

今後ともご支援とご声援をどうぞよろしくお願いいたします。

江戸川大学男子バスケットボール部